

中津市の財政推計

中津市の財政状況の見直しについて、消費増税の影響や今後の社会情勢の変化、決算状況等を考慮し見直しを行いました。

◆財政推計

(単位: 百万円)

区 分	H28 (決算額)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
歳入	(1) 市税・交付税・臨財債等	24,119	23,150	22,916	22,893	22,612	22,567	22,466
	(2) 国県支出金	9,803	10,676	9,559	9,964	10,039	10,110	10,162
	(3) 起債(通常債)	2,953	3,183	2,925	2,486	2,503	2,402	2,300
	(4) 繰越金	1,029	972					
	(5) その他収入	3,940	4,448	4,484	4,433	4,425	4,440	4,417
	うち特目基金繰入金	117	802	616	483	356	356	356
計	41,844	42,429	39,884	39,776	39,579	39,519	39,345	
歳出	(1) 義務的経費	22,510	22,529	22,339	22,750	22,685	22,421	22,375
	① 人件費	7,181	7,505	7,393	7,574	7,420	7,213	7,177
	うち職員給与等	4,668	4,839	4,745	4,847	4,752	4,673	4,623
	うち退職手当	521	604	515	611	571	455	474
	② 扶助費	9,767	9,589	9,782	9,936	10,093	10,192	10,266
	③ 公債費	5,562	5,435	5,164	5,240	5,172	5,016	4,932
	うち元金	5,214	5,128	4,912	4,992	4,903	4,720	4,606
	(2) 投資的経費	5,849	7,410	5,459	5,453	5,453	5,381	5,400
	① 普通建設事業費	5,731	6,031	5,459	5,453	5,453	5,381	5,400
	② 災害復旧費	118	1,379					
	(3) その他経費	12,149	13,492	13,213	12,856	12,729	12,730	12,519
計	40,508	43,430	41,011	41,059	40,867	40,532	40,294	
収支(歳入-歳出)	1,336	△ 1,001	△ 1,127	△ 1,283	△ 1,288	△ 1,013	△ 949	

◆財政調整基金

取崩額	△ 303	△ 1,001	△ 1,127	△ 1,283	△ 1,288	△ 1,013	△ 949
利子積立金	6	10	9	7	7	5	5
前年度決算剰余金	750	660	700	700	700	700	700
財政調整基金現在高	3,973	3,642	3,224	2,648	2,067	1,759	1,515

◆起債残高

起債借入額	4,249	5,469	4,285	3,746	3,903	3,802	3,700
償還額(元金)	5,214	5,128	4,912	4,992	4,903	4,720	4,606
起債現在高	43,812	44,153	43,526	42,280	41,280	40,362	39,456
プライマリーバランス	965	△ 341	627	1,246	1,000	918	906

◆主要基金の状況

区 分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
減債基金	△ 400	△ 400	△ 400	△ 300			
積立金		4	4	3	2	2	2
現在高	1,614	1,218	822	525	527	529	531
地域振興基金		△ 327	△ 308	△ 300	△ 300	△ 300	△ 300
積立金	170	8	8	6	6	5	3
現在高	3,170	2,851	2,551	2,257	1,963	1,668	1,371
退職手当基金		△ 200	△ 200	△ 126			
積立金		1	1				
現在高	524	325	126	0	0	0	0

財政推計の方法

歳入	(1) 市税・交付税・臨財債等	<ul style="list-style-type: none"> 一般財源総額は内閣府「中長期経済財政に関する試算」の慎重シナリオに基づき総額確保(伸び率0%)にて試算 ただし、普通交付税は一本算定移行による減額(H32に△720百万円)及び公債費算入額を反映し減額推計 臨時財政対策債は交付税の一本算定移行による減額を加味しなかった場合の一般財源総額維持にて試算
	(2) 国県支出金	<ul style="list-style-type: none"> 扶助費等歳出の伸びに連動
	(3) 起債(通常債)	<ul style="list-style-type: none"> 合併特別債はH28に2,139百万円、H29に1,217百万円発行により発行可能額全額発行の推計 過疎債(ソフト分)は発行期限であるH32まで毎年200百万円発行により推計 プライマリーバランスを勘案した発行額の推計 合併、過疎債終了後は公共事業債及び学校施設債(交付税算入20%程度)を17億円発行により推計
	(4) 基金等繰入金	<ul style="list-style-type: none"> 市民公募債満期一括償還(H28,29に各4億円) 普通交付税算一本算定になるH32まで(H30に4億円、H31に3億円) 減債基金にて対応
歳出	(1) ① 人件費	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員は現員確保、技師職員の補充なしにて推計 給与額の新旧代謝を反映
	(1) ② 扶助費	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護扶助費を過去の受給者数の伸率で推計 障がい福祉扶助費、子供医療費等の伸率を反映
	(2) 投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> 合併特別債及び過疎債発行の終了に比例して、遞減にて推計
(3) その他経費	<ul style="list-style-type: none"> 特別会計繰出金は、社会保障費関係(国民健康保険事業、介護保険事業)の増額を反映 その他特別会計(下水道事業等)は所要の繰出金額を計上 物件費、維持補修費、補助費等は今後の所要額見込みを計上 出資金は浄水場更新に係る出資金見込み額を計上 	